

労働市場の概要（平成22年2月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

2月の有効求人倍率(季節調整値)は、前月より0.05ポイント上昇し 0.64倍となった。(原数値比較でも前月より0.01ポイント上昇した。)

これを求人・求職の内訳でみると、前月と比較して、有効求人数(季節調整値)が5.3%増加し、有効求職者数(季節調整値)は2.5%減少した。

2月の新規求人数は、前年同月と比較(原数値)すると、主な産業では、建設業(33.7%減)、運輸業・郵便業(22.8%減)、卸売・小売業(30.4%減)、医療・福祉(1.7%減)、サービス業(他に分類されないもの)(6.9%減)と依然多くの産業で減少している。一方、製造業(11.3%増)、情報通信業(240.5%増)、宿泊業・飲食サービス業(93.0%増)、教育・学習支援業(44.2%増)と増加した産業もみられ、特に、製造業においては、急激に減少した前年から19ヶ月ぶりに増加に転じた。全体では対前年同月比2.1%減と減少幅は縮小したものの、28ヶ月連続での減少となっている。

新規求職は、大幅な増加となった前年同月比で16.1%減と3ヶ月連続で減少した。

この結果、有効求人倍率(季節調整値)は、前月より0.05ポイント上昇したものの、求人に力強さはなく、県内の雇用情勢は依然厳しい状況が続くことが懸念される。

1 有効求人倍率(季節調整値)

2月の有効求人倍率は0.64倍となり、前月より0.05ポイント上昇した。

[過去最低:昭和38年1月の0.51倍]

(1)有効求人(パートを含む)

○ 2月の有効求人は25,715人で、対前年同月比(原数値比較)で17.0%減少し、対前月比(季節調整値比)では5.3%増加した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で28ヶ月連続して減少した。

(2)有効求職(パートを含む)

○ 2月の有効求職は38,987人で、対前年同月比(原数値比較)で2.7%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも2.5%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で18ヶ月ぶりの減少となった。

(3) 2月の正社員の有効求人倍率は0.40倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

2月の新規求人倍率は1.08倍となり、前月より0.06ポイント上昇した。

(1)新規求人(パートを含む)

○ 2月の新規求人は10,168人で、対前年同月比(原数値比較)で2.1%減少し、対前月比(季節調整値比較)では3.6%増加となった。

○ 対前年同月比(原数値比較)では28ヶ月連続して減少した。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

▲建設業	33.7%の減少	▲学術・専門技術サービス	10.0%の減少
▲製造業	11.3%の増加	▲宿泊・飲食サービス業	93.0%の増加
▲情報通信業	240.5%の増加	▲生活関連サービス業・娯楽業	40.1%の減少
▲運輸業・郵便業	22.8%の減少	▲教育・学習支援業	44.2%の増加
▲卸売・小売業	30.4%の減少	▲医療・福祉	1.7%の減少
▲金融・保険業	32.5%の減少	▲サービス業	6.9%の減少
▲不動産業・物品賃貸業	23.3%の増加	▲公務、その他	12.0%の増加

(2)新規求職(パートを含む)

○ 2月の新規求職は9,654人で、対前年同月比(原数値比較)で16.1%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも、2.5%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は3ヶ月連続で減少した。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は519,425人で、対前年同月比0.9%の増加となり、2ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は、10,713人で対前年同月比は 9.4%減少し、受給率は2.0%で前月より0.2ポイント低下した。